

第20回年次大会のお知らせ

拝啓

新緑の候となりました。会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

経営行動科学学会（JAAS）年次大会は今回で第20回を迎えることになりました。既に学会ホームページでご案内のように、2017年11月4日（土）と5日（日）の両日開催されます。今回は、同志社大学と京都大学の共同開催となります。大会会場は、同志社大学今出川キャンパスです。近年、京都は宿泊施設が取りにくい状況が続いております。遠方から年次大会のご参加を検討しておられる皆様は、お早めにご宿泊の手配をしていただくようお願いいたします。

今大会では、定例の研究発表セッションに加え、AIやロボットが未来の職場に与える影響と経営行動科学の役割、研究者と実務家との対話、会員の研究水準の向上を目的とする複数の特別セッションなど、数々の魅力的なセッションを取り揃えて皆様をお迎えできるよう準備しております。

発表の申込みおよび発表原稿の提出等は近年の年次大会のやり方を踏襲し、ウェブ経由で行う予定です。また、発表論文提出後に大会運営委員会にてスクリーニングを行い、一部の発表者の方々にフィードバックを行う予定です。これらの点をご理解いただき、発表申込みや発表論文等の提出は、今回の案内にありますスケジュールを厳守して行っていただくようよろしくお願いいたします。

研究者、実務家、学生の枠を超えた活発な知的交流が促進され、実り豊かな年次大会が実現することを願っています。どうぞ奮ってご参加、ご応募くださいますようお願い申し上げます。

敬具

2017年5月

経営行動科学学会第20回年次大会運営委員会
共同委員長 藤本哲史・関口倫紀

1. 会期・会場

(1) 会期：2017年11月4日（土）・5日（日）

(2) 会場：同志社大学今出川キャンパス良心館（メイン会場）・寒梅館 Will（懇親会会場）

〒602-8580 京都市上京区今出川通り烏丸東入

会場へのアクセスについては以下のサイトでご確認ください。

<https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/imadegawa.html>

2. 発表資格

年次大会の発表資格は以下のとおりです。共同発表者も同様です。

- 年次大会当日に経営行動科学学会の個人会員ないしは法人会員であるか、もしくは入会申込みを済ませていること

かつ

- 会員については、年次大会当日までに2017年度の年度会費を納入していること

ただし、シンポジウムについては、司会者が上記の要件を満たしていればその他の登壇者の資格は問いません。

3. 発表種目

以下の発表種目について申込みを受け付けます。複数の発表を受け付けますので、奮ってお申し込みください。大学院生の方は「研究・事例発表」「大学院生セッション」のどちらにも応募することができます。それぞれのセッションの目的を踏まえて選択してください。

種別	内容	時間	提出物
① 研究・事例発表	単独もしくは共同で実施した実証研究ならびに理論研究について口頭で報告するものです。この発表枠には、企業現場などで起きている実際の事例について詳細に発表する「事例発表」も含まれます。	30分 (発表 20分+ 質疑応答 10分)	1,600 字× 4 枚～8 枚 の発表論文
② 大学院生セッション	大学院生を中心に研究者としてのキャリアの途についての方が、自分の研究テーマやアイデアなどについて自由に発表するものです。今後の研究を進めるうえで、研究者としての先輩格に当たる方々から有益なアドバイスを得ることを重視したセッションです。	30分 (発表 20分+ 質疑応答 10分)	1,600 字× 4 枚～8 枚 発表論文
③ 公開レクチャー	経営学、産業・組織心理学、産業社会学、労働経済学、統計学などの領域で注目されるテーマや中心的概念などについて講義形式で発表を行うものです。新しい発見や先端の研究紹介だけでなく、基礎的概念の包括的理解や論点の整理、研究の歴史的理解などについての発表も含まれます。	80分 (講義 60分+ 質疑応答 20分)	1,600 字× 6 枚以内の 講義概要
④ シンポジウム	共通の研究テーマや組織経営問題に関して、数人の報告者が基調報告や研究発表を順に行い、全発表が終了した後に指定討論者がまとめを行います。テーマの設定や司会者・発表者・指定討論者などの人選については、代表者が責任をもって確定してください。	原則 2 時間	1,600 字× 6 枚以内の 発表概要

上記のほか大会運営委員会の企画として、基調講演、シンポジウム、懇親会等を予定しております。

4. 発表申込み方法および大会までのスケジュール

今大会ではより充実した年次大会の実現を目指して、以下のように実施します。

- (1) 発表申し込みは、学会ホームページから行ってください。ホームページから直接申し込んでもらうことで、申し込み手続きの簡素化と大会運営の効率化を目指しています。なお、ホームページ経由での申し込みが難しい場合は、ホームページから発表申込書をダウンロードして必要事項を記入の上大会運営委員会にE-mailでお送りください。
- (2) 各発表の質的向上を図るため、研究発表等申込書の発表要旨欄の文字数を 400 字程度にするとともに、発表論文等提出後に大会運営委員会にてスクリーニングを行い、一部の発表者の方にフィードバックをお送りします。発表申込みの時点で発表論文のイメージを作っていただくとともに、研究発表のクオリティをより高めていただくことで、年次大会における研究発表の機会を一層有意義なものにしていただくことを目的としたものです。大会運営委員会からフィードバックを受け取られた方はフィードバック・コメントに対応のうえ発表論文を再提出していただくようお願いいたします。

今年度の年次大会も近年の大会同様、発表論文の提出期限が守られない場合や、所定の体裁からの大幅な逸脱が見られる場合には、原則として取り下げ扱いとします。発表予定の皆様には、「原稿作

成にあたっての留意事項（5 ページ）」を参照して原稿を作成のうえ、期限までに提出いただくようお願いいたします。

年次大会までのスケジュールおよび発表の申込み手順は以下のとおりです。

日付	申込み手順	
7月10日（月）	発表申込み締切り	学会ホームページ【 http://www.jaas.jp/ 】の「年次大会発表お申込み」にて期限までに必要事項を記入のうえお申し込みください。共同発表の場合は、代表者のみで結構です。
8月14日（月）	発表論文等の原稿提出締切り	発表論文（PDF ファイル）については、後日大会運営委員会がお知らせする「年次大会発表原稿投稿フォーム URL」を通して、期限までに代表者をご提出ください。その際、必ず「原稿作成にあたっての留意事項」を参照して作成してください。
8月末ごろ	発表論文に対するフィードバック	大会運営委員会から発表論文に対してフィードバックがあった場合には、フィードバック・コメントに対応のうえ期限までに発表論文を再提出してください。
9月8日（金）	発表論文の再提出締切り	
9月下旬	年次大会プログラム・参加費振込用紙の送付	
10月13日（金）	年次大会予約参加申込み（年次大会参加費振込み）期限	
11月4日・5日（土・日）	経営行動科学学会第20回年次大会	

5. 大会論文集について

近年の年次大会と同様、今大会も引き続き論文集のデータが入った USB メモリを参加者全員に頒布する予定です。紙媒体の論文集は別料金にてご購入いただくことが可能です。

6. 参加費用

会員区分	費用の種類	事前振り込み (10月13日（金）まで)	当日支払
会員 (一般)	参加費 (USBメモリ代を含む)	6,000円	8,000円
	懇親会費	5,000円	6,000円
	紙媒体の論文集代	4,000円	5,000円
会員 (大学院生)	参加費 (USBメモリ代を含む)	4,000円	5,000円
	懇親会費	3,000円	4,000円
	紙媒体の論文集代	4,000円	5,000円
非会員	参加費 (USBメモリ代を含む)	—	8,000円
	懇親会費	—	6,000円
	紙媒体の論文集代	—	5,000円

7. 大会運営委員会メンバーおよび年次大会についてのお問い合わせ先

共同委員長 藤本哲史（同志社大学政策学部教授）
共同委員長 関口倫紀（京都大学経営管理大学院教授）
委員 松山一紀（近畿大学経営学部教授）
委員 田中秀樹（京都学園大学経済経営学部准教授）
委員 古田克利（関西外国語大学英語キャリア学部講師）
委員 細見正樹（香川大学経済学部講師）
委員 戎谷 梓（大阪大学大学院経済学研究科助教）
委員 今井裕紀（同志社大学総合政策科学研究科博士課程）
委員 夏 世明（同志社大学総合政策科学研究科博士課程）
委員 張 卓（大阪大学大学院経済学研究科博士課程）
委員 楊 芸玥（京都大学大学院経済学研究科博士課程）

（委員は職位および五十音順）

大会に関するお問い合わせ先は以下のとおりです。

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学経営管理大学院
関口倫紀研究室内
経営行動科学学会第20回年次大会運営委員会事務局
E-mail: JAAS2017doshisha@gmail.com

原稿作成にあたっての留意事項

以下の事項に留意して原稿を作成いただきますようお願いいたします。学会ホームページに発表論文の原稿テンプレートを掲載していますので、必要な方はダウンロードしてご利用ください。

事項	ご留意いただきたい内容
用紙	A4 版縦長に使用し原稿を作成して下さい。
形式	パソコンを使用し PDF ファイルに変換して下さい。手書きの原稿は受理できません。提出された原稿はそのまま印刷されますので、あらかじめ出来上りを確かめて下さい。
レイアウト	<p>以下のレイアウトを参照して原稿を作成して下さい。すべてのページについて、<u>上下に 20mm</u>、<u>左右に 20mm</u> ずつの余白を設定して下さい。<u>ページ番号は印字しないで下さい。</u></p> 
題目	題目は、1 頁目の 1 行目から 2 行目にかけて、 <u>明朝体</u> もしくはそれに準じる書体で、 <u>大きめの文字</u> (14 ポイント程度) を使用し、 <u>行の中央</u> の位置に記入して下さい。副題がある場合には、 <u>明朝体</u> の見やすい大きさの文字を使用し、 <u>題目の次行の中央</u> の位置に記入して下さい。
氏名・所属	氏名は、題目 (もしくは副題) の下に 1 行分の空欄を設けてから、その下の行 (題目・副題の 2 行下) に、 <u>明朝体</u> もしくはそれに準じる書体で、 <u>標準の文字</u> (10.5 ないし 10 ポイント程度) を使用し、 <u>行の中央</u> の位置に記入して下さい。所属は、氏名に続けて、氏名と同じ行にカッコでくくって、氏名と同じ書体で記入して下さい。シンポジウムの発表概要については、参加者氏名の前に、各参加者が担当する役割 (司会者、基調報告者、発表者、指定討論者、パネリストなど) を明記して下さい。
本文	本文は、 <u>標準の文字</u> (10.5 ないし 10 ポイント程度) を使用して作成して下さい。ただし、1 頁目の本文は、氏名・所属の下に 1 行分の空欄を設けてから書き始めて下さい。
図・表・写真	図、表、写真は原稿に直接挿入して下さい。